

営農支援情報

(第4号)

発行元：ホクレン北見支所 営農支援室

～営農のお役に立つ情報をお届けします～

(アドレス：11einousien@hokuren.jp)

● 麦の一般情勢について 《米麦農産課》

1. 北海道産小麦の受渡状況について

令和元年産民間流通小麦の受渡につきましては、受渡数量は前年を上回っているものの、受渡進捗は前年を下回っております。

また、新型コロナウイルスの影響について、直近の需要動向はパン、乾麺、即席めんなどのうち外国産麦を主体とした製品の消費は伸びておりますが、国内産麦を使用した商品は使用用途が限定であることから、消費量が減少しており、更なる受渡の遅延が懸念されております。

今後の需要動向に注視しつつ、計画的な受渡に向け、実需者および輸送会社に対し引取要請を行ってまいります。

表 令和元年産民間流通麦 受渡進捗状況（5月末実績 系統分）

		当初契約数量 (ト) ①	取扱(入庫)数量 (ト) ②	比率 ②/①	5月末受渡数量 (ト) ③	進捗状況 ③/②	
北海道	小麦	元年産	528,902	597,383	112.9%	300,920	50.4%
		30年産	535,464	408,586	76.3%	225,207	55.1%
		差引(元-30)	▲6,562	188,796	-	75,712	-
	大麦	元年産	366	1,415	386.5%	0	0.0%
		30年産	505	494	97.8%	82	16.6%
		差引(元-30)	▲139	921	-	▲82	-

表 令和元年産民間流通麦 用途別受渡状況（5月末実績 系統分）

	日本めん用		パン・中華めん用	
	30年産	元年産	30年産	元年産
入庫数量(ト)	345,389	491,225	63,296	106,158
オーダー数量(ト)	197,180	257,045	27,946	43,874
進捗	57.1%	52.3%	44.2%	41.3%

2. 民間流通小麦の価格推移について

「きたほなみ」の流通価格につきましては、令和元年産は 56,718 円/ t、令和 2 年産は 60,518 円/ t となり、競合するオーストラリア産銘柄の「ASW」と大きな価格差が生じていることから、需要の維持・拡大に向け取り組むとともに、実需者に対し計画的な引取を要請してまいります。

円/ト 図 北海道産小麦 主要 3 銘柄の価格推移（指標価格 ※事後調整前）

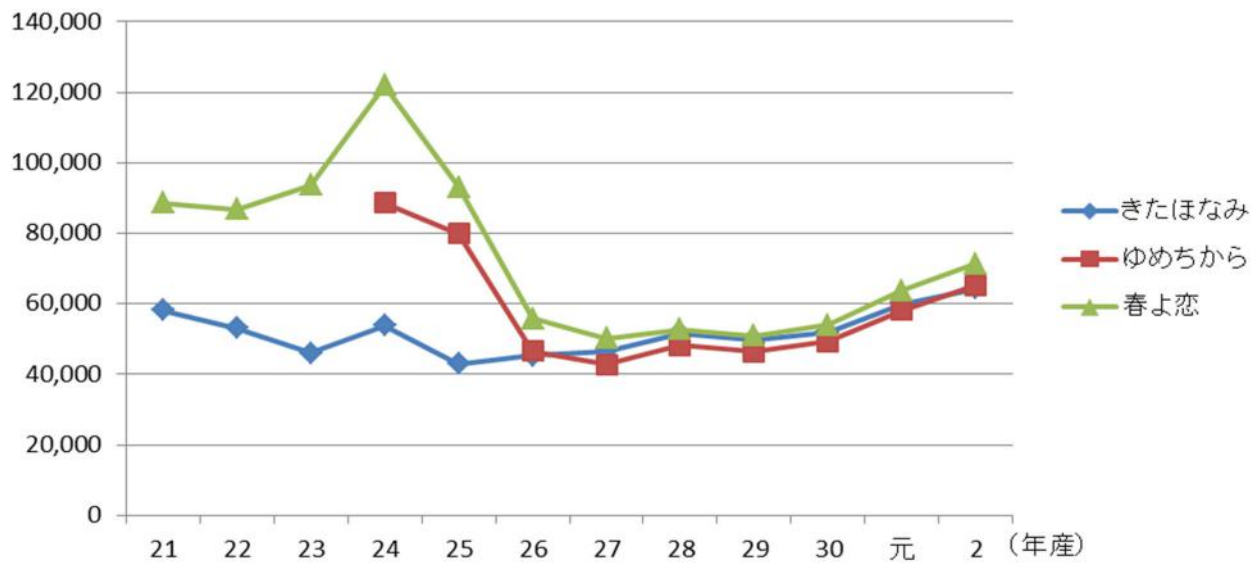


図 民間流通小麦の流通価格（きたほなみ 1 等建値、円/ト、税抜）

	令和元年					令和2年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和元年産	A		B			C								
令和2年産													D	

	契約価格	×	輸入麦変動率	=	流通価格	ASW流通価格
令和元年産	59,956円	×	100.5%	=	A価格(令和元年8月~9月) : 60,256円	51,217円
			91.8%		B価格(令和元年10月~令和2年3月) : 55,040円	46,094円
			94.6%		C価格(令和2年4月~9月) : 56,718円	49,784円
令和2年産	64,313円	×	94.1%	=	D価格(令和2年8月~9月) : 60,518円	49,784円

3. 北海道産小麦の安定的・計画的な生産に向けた取り組みについて

道産小麦の需要が拡大し、各銘柄ともに引き合いの強い状況のなか、用途別需要に応じた安定的・計画的生産に努めるべく、下記のような取り組みを実施しております。

(取組事例 1) JA・米麦改良協会との連携による取組

安定生産の確立に向けた試験圃場の設置

各地区の課題に対応した試験圃場の設置



検証結果を産地へ提供し水平展開

(取組事例 2)

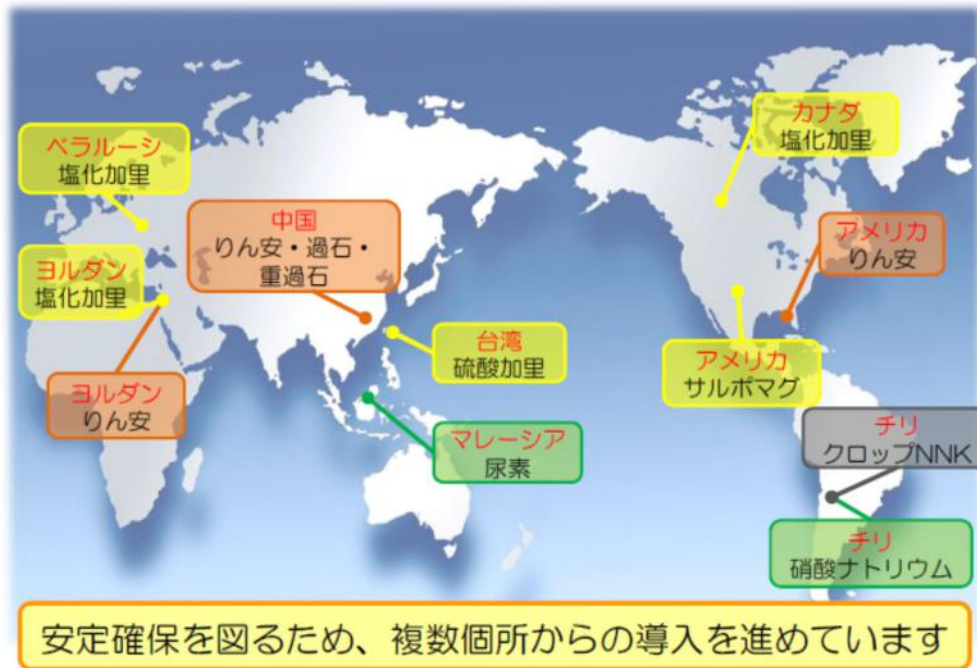
新品種候補系統

- ① 「北見 94 号」(北見農業試験場) 日本めん用
きたほなみに近い農業特性、縞萎縮抵抗性に優れる。
- ② 「北見 95 号」(北見農業試験場) 菓子用
きたほなみに近い農業特性、菓子適性が優れる。
- ③ 「北見春 79 号」(北見農業試験場) パン・中華めん用
耐穂発芽性に非常に優れる、品質について要検討。
- ④ 「HW8 号」(ホクレン農総研) パン・中華めん用
耐倒伏性、耐穂発芽性に優れる、品質について要検討。

● 系統肥料の安定供給・コスト低減に向けた取組み 《生産資材課》

肥料の安定供給・コスト低減のための取組みの一つとして、本会は肥料原料を複数の国から輸入しています。輸入先により色調が異なるため、同一の銘柄でも色調に差が出てしまう場合もありますが、品質上問題ないため安心してご使用ください。また、令和 2 肥料年度の価格については尿素やりん安、加里等主要原料の国際市況の変動や円高を背景に、本会取扱化学肥料の主要 11 品目における加重平均で-5.1%(令和 1 肥料年度対比)となりました。今後も引き続き安定供給とコスト低減に向けより一層努力し、生産者・JA から選ばれる「系統肥料」を目指してまいります。

図 本会取扱主要肥料原料輸入先



● 暑い季節の作業リスクに注意 《営農支援推進課》

暑い季節の農作業は、熱中症や夏バテ、日焼けなどの多くのリスクがあります。リスクを最小限に抑え、元気に働くためには何に注意すればいいのでしょうか。

2019年8月に発行したアグリレポート20号の特集「夏作業のリスク」では、いろいろな分野の方に夏を乗り切るためのアドバイスをいただきました。

下記のURLからご覧いただけますので、参考にしてみてください。

バックナンバー

アグリレポート20号

特集「夏作業のリスク」

- 夏作業におけるリスクと対策
- 熱中症を防ぐための環境整備
- 夏バテしない身体づくり
- 日焼け止めの正しい使い方
- スマートウォッチに注目！



<https://www.hokuren.or.jp/kouho/ap/backnumber/20.pdf#page=4>



内容に関してのお問合せやご意見につきましては、ホクレン北見支所営農支援室（担当：川口）までメールにてお願いいたします（11einousien@hokuren.jp）。